

表1 事故件数の年度別推移

平成26年度
(件)

製品区分	平成																	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度								
01.家庭用電気製品	738 (36.1%)	1,172 (39.0%)	2,380 (40.1%)	<533> (48.8%)	2,266 (49.9%)	<660> (51.2%)	2,011 (53.1%)	<488> (46.4%)	2,305 (55.2%)	<481> (47.2%)	2,307 (59.1%)	<499> (48.2%)	1,381 (45.6%)	<494> (51.6%)	1,424 (39.9%)	<514> (57.7%)	1,245 (52.1%)	<486> (56.8%)
02.台所・食卓用品	22 (1.1%)	70 (2.3%)	116 (2.0%)	<10> (0.9%)	137 (3.0%)	<12> (0.9%)	158 (4.2%)	<7> (0.7%)	79 (1.9%)	<8> (0.8%)	79 (2.0%)	<10> (1.0%)	177 (5.8%)	<11> (1.1%)	88 (2.5%)	<9> (1.0%)	75 (3.1%)	<11> (1.3%)
03.燃焼器具	853 (41.8%)	1,112 (37.0%)	1,385 (23.3%)	<334> (30.6%)	936 (20.6%)	<403> (31.3%)	696 (18.4%)	<356> (33.9%)	686 (16.4%)	<320> (31.4%)	705 (18.1%)	<321> (31.0%)	597 (19.7%)	<259> (27.1%)	783 (21.9%)	<240> (26.9%)	623 (26.1%)	<204> (23.8%)
04.家具・住宅用品	72 (3.5%)	153 (5.1%)	279 (4.7%)	<63> (5.8%)	328 (7.2%)	<82> (6.4%)	213 (5.6%)	<68> (6.5%)	396 (9.5%)	<87> (8.5%)	304 (7.8%)	<76> (7.3%)	241 (8.0%)	<74> (7.7%)	224 (6.3%)	<47> (5.3%)	133 (5.6%)	<61> (7.1%)
05.乗物・乗物用品	183 (9.0%)	186 (6.2%)	152 (2.6%)	<59> (5.4%)	168 (3.7%)	<54> (4.2%)	164 (4.3%)	<73> (6.9%)	241 (5.8%)	<69> (6.8%)	168 (4.3%)	<63> (6.1%)	99 (3.3%)	<51> (5.3%)	110 (3.1%)	<31> (3.5%)	89 (3.7%)	<39> (4.6%)
06.身のまわり品	86 (4.2%)	220 (7.3%)	1,252 (21.1%)	<67> (6.1%)	418 (9.2%)	<39> (3.0%)	232 (6.1%)	<35> (3.3%)	201 (4.8%)	<33> (3.2%)	198 (5.1%)	<37> (3.6%)	414 (13.7%)	<46> (4.8%)	183 (5.1%)	<33> (3.7%)	130 (5.4%)	<37> (4.3%)
07.保健衛生用品	17 (0.8%)	25 (0.8%)	119 (2.0%)	<9> (0.8%)	29 (0.6%)	<5> (0.4%)	120 (3.2%)	<3> (0.3%)	59 (1.4%)	<4> (0.4%)	21 (0.5%)	<11> (1.1%)	23 (0.8%)	<7> (0.7%)	20 (0.6%)	<6> (0.7%)	20 (0.8%)	<4> (0.5%)
08.レジャー用品	59 (2.9%)	29 (1.0%)	109 (1.8%)	<13> (1.2%)	103 (2.3%)	<16> (1.2%)	80 (2.1%)	<13> (1.2%)	87 (2.1%)	<11> (1.1%)	73 (1.9%)	<17> (1.6%)	56 (1.9%)	<8> (0.8%)	51 (1.4%)	<9> (1.0%)	48 (2.0%)	<11> (1.3%)
09.乳幼児用品	6 (0.3%)	21 (0.7%)	128 (2.2%)	<4> (0.4%)	130 (2.9%)	<12> (0.9%)	81 (2.1%)	<6> (0.6%)	90 (2.2%)	<5> (0.5%)	21 (0.5%)	<1> (0.1%)	14 (0.5%)	<4> (0.4%)	673 (18.8%)	<1> (0.1%)	15 (0.6%)	<3> (0.4%)
10.繊維製品	7 (0.3%)	20 (0.7%)	13 (0.2%)	<1> (0.1%)	29 (0.6%)	<6> (0.5%)	35 (0.9%)	<2> (0.2%)	29 (0.7%)	<0> (0.0%)	25 (0.6%)	<1> (0.1%)	25 (0.8%)	<3> (0.3%)	15 (0.4%)	<1> (0.1%)	10 (0.4%)	<0> (0.0%)
11.その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.0%)	<0> (0.0%)	0 (0.0%)	<0> (0.0%)	1 (0.0%)	<0> (0.0%)	1 (0.0%)	<0> (0.0%)								
合計	2,043 (100.0%)	3,008 (100.0%)	5,935 (100.0%)	<1,093> (100.0%)	4,544 (100.0%)	<1,289> (100.0%)	3,790 (100.0%)	<1,051> (100.0%)	4,173 (100.0%)	<1,018> (100.0%)	3,901 (100.0%)	<1,036> (100.0%)	3,027 (100.0%)	<957> (100.0%)	3,572 (100.0%)	<891> (100.0%)	2,389 (100.0%)	<856> (100.0%)

(注) ()内の数字は、各年度の通知件数に占める製品区分毎の割合を百分率で表したものである。

表2 製品区分別被害状況

平成26年度
(件)

製品区分	被害状況			人的被害の発生した事故									人的被害の発生しなかった事故								
	合計			死亡			重傷			軽傷			拡大被害			製品破損			被害なし		
01.家庭用電気製品	1,245	1,424	1,381	13	17	17	26	25	31	166	99	92	458	478	455	571	783	766	11	22	20
02.台所・食卓用品	75	88	177	0	0	0	10	9	9	15	26	104	0	0	11	46	52	46	4	1	7
03.燃焼器具	623	783	597	13	16	15	8	15	25	57	56	57	191	192	190	346	474	294	8	30	16
04.家具・住宅用品	133	224	241	10	3	8	52	47	64	50	68	81	6	8	18	15	94	67	0	4	3
05.乗物・乗物用品	89	110	99	1	2	7	40	29	40	35	52	28	0	0	4	12	21	17	1	6	3
06.身のまわり品	130	183	414	0	0	1	18	25	39	50	61	50	30	31	26	24	62	296	8	4	2
07.保健衛生用品	20	20	23	0	1	1	4	4	5	11	10	9	0	3	1	5	2	7	0	0	0
08.レジャー用品	48	51	56	1	0	0	10	7	9	15	14	17	2	2	0	17	27	28	3	1	2
09.乳幼児用品	15	673	14	2	0	0	2	2	3	4	13	9	0	0	1	4	658	0	3	0	1
10.繊維製品	10	15	25	0	0	0	0	1	3	10	11	19	0	0	0	0	0	1	0	3	2
11.その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
合計	2,389	3,572	3,027	40	39	49	170	164	228	413	410	466	688	714	706	1,040	2,174	1,522	38	71	56

(注)1. 被害状況については、製品の問題の有無を問わずにみた件数である。

2. 重傷とは、全治1か月以上のけがをいう。

3. 拡大被害は、製品以外に他の物的被害に及んだものをいう。

4. 各欄内の数値は(平成26年度、平成25年度、平成24年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の被害状況を集計したものである。

表3 製品区分別事故原因

平成26年度
(件)

事故原因 製品区分	重大製品事故	A:専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	B:製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	C:製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したものと考えられるもの	G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの	D:業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	E:専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	F:その他製品に起因しないと考えられるもの	G1、G2:原因不明のもの	[小計]調査が終了したのもの	H:調査中のもの	合計
01.家庭用電気製品	134 295 318	302 522 481	3 8 38	5 10 16	42 60 85	11 15 22	58 142 150	39 86 94	71 169 146	665 1,307 1,350	580 117 31	1,245 1,424 1,381
02.台所・食卓用品	3 6 4	6 63 96	1 1 6	0 0 1	1 7 29	0 0 0	2 3 15	0 2 3	3 3 22	16 85 176	59 3 1	75 88 177
03.燃焼器具	45 111 101	13 49 15	0 1 1	6 27 14	5 13 9	9 14 20	83 152 184	30 94 78	150 281 166	341 742 588	282 41 9	623 783 597
04.家具・住宅用品	18 19 29	9 77 66	3 3 3	0 0 0	5 15 17	7 6 22	13 53 43	0 12 27	14 28 31	69 213 238	64 11 3	133 224 241
05.乗物・乗物用品	8 12 15	3 25 6	4 2 2	0 0 0	1 16 7	1 0 8	5 6 10	4 10 25	24 31 25	50 102 98	39 8 1	89 110 99
06.身のまわり品	8 13 15	43 67 324	2 20 5	0 0 1	3 9 3	0 1 0	5 15 15	2 17 26	14 32 24	77 174 413	53 9 1	130 183 414
07.保健衛生用品	1 0 4	5 2 10	0 1 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 3 3	4 4 3	4 7 2	14 17 22	6 3 1	20 20 23
08.レジャー用品	6 8 4	13 25 4	2 5 0	0 1 1	0 1 2	0 0 0	2 2 18	1 1 7	5 7 19	29 50 55	19 1 1	48 51 56
09.乳幼児用品	0 0 1	2 666 2	3 2 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	1 1 6	0 1 4	1 2 1	7 672 14	8 1 0	15 673 14
10.繊維製品	0 0 1	0 3 4	0 0 0	0 0 0	0 0 12	0 0 0	0 0 0	7 6 7	2 4 1	9 13 25	1 2 0	10 15 25
11.その他	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	1 0 0	0 0 0	0 0 0	0 1 0	1 1 0	0 0 0	1 1 0
合計	223 464 492	396 1,499 1,008	18 43 55	11 38 33	57 121 164	29 36 72	169 377 444	87 233 274	288 565 437	1,278 3,376 2,979	1,111 196 48	2,389 3,572 3,027

(注)1. 各欄内の数値は(平成26年度、平成25年度、平成24年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の事故原因を集計したものである。
2. 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表4 事故原因別被害状況

平成26年度
(件)

事故原因	被害状況		人的被害の発生した事故			人的被害の発生しなかった事故		
	合計		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	被害なし
重大事故	223	464 492	0	43	9	96	75	0
A:専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	396	1,499 1,008	1	1	128	25	229	12
B:製品自体に問題があり、使用方も事故発生に影響したと考えられるもの	18	43 55	0	0	10	2	3	3
C:製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したものと考えられるもの	11	38 33	0	0	0	0	11	0
G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの	57	121 164	0	0	2	16	39	0
D:業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	29	36 72	0	2	4	10	13	0
E:専ら誤使用や不注意な使用方法と考えられるもの	169	377 444	3	10	38	69	47	2
F:その他製品に起因しないと考えられるもの	87	233 274	1	9	15	37	23	2
G1、G2:原因不明のもの	288	565 437	2	2	57	41	176	10
[小計]調査が終了したもの	1,278	3,376 2,979	7	67	263	296	616	29
H:調査中のもの	1,111	196 48	33	103	150	392	424	9
合計	2,389	3,572 3,027	40	170	413	688	1,040	38

(注)1. 各欄内の数値は(平成26年度、平成25年度、平成24年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき事故原因別の被害状況を集計したものである。

2. 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表5 製品区分別再発防止措置等の実施状況

(製品に起因する事故) 平成26年度
(件)

製品区分	発防止措置の実施状況			製品の交換、部品の交換、安全点検等を行ったもの	製品の製造、販売又は輸入を中止したもの	製品の改良、製造工程の改善、品質管理の強化等を行ったもの	表示の改善、取扱説明書の見直し等を行ったもの	政府、団体、事業者等の広報等により消費者に注意を喚起したもの	被害者への措置、損害賠償、製品交換等、個別的な措置												
	措置実施件数																				
01.家庭用電気製品	367	605	570	220	455	412	69	37	172	209	262	355	75	16	112	259	381	359	275	382	205
02.台所・食卓用品	8	67	99	4	58	88	0	6	0	2	12	10	3	1	2	5	63	92	6	60	8
03.燃焼器具	36	113	61	26	86	43	0	22	1	14	63	24	0	4	5	31	79	45	12	34	27
04.家具・住宅用品	25	99	94	14	82	69	18	50	53	12	37	54	6	14	8	15	60	48	19	67	63
05.乗物・乗物用品	8	45	23	3	41	11	0	6	0	6	45	11	2	18	4	3	29	11	3	27	10
06.身のまわり品	51	82	330	45	52	57	27	46	33	12	32	283	5	19	8	36	44	49	45	61	63
07.保健衛生用品	6	1	12	1	1	7	5	0	8	5	1	3	5	2	5	1	0	7	5	0	6
08.レジャー用品	21	36	4	14	28	4	6	24	0	19	45	2	5	8	2	4	29	3	17	23	2
09.乳幼児用品	5	668	3	0	664	1	0	0	0	4	664	2	2	1	0	0	665	1	4	666	2
10.繊維製品	0	3	4	0	3	3	0	0	1	0	4	3	0	0	0	0	2	2	0	2	2
11.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	527	1,719	1,200	327	1,470	695	125	191	268	283	1,165	747	103	83	146	354	1,352	617	386	1,322	388

(注)1. 収集された事故に関して複数の措置が取られたものは、措置ごとに集計した。

2. 各欄内の数値は(平成26年度、平成25年度、平成24年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の再発防止措置等の実施状況を集計したものである。

3. 個別措置のみのものを除く。